

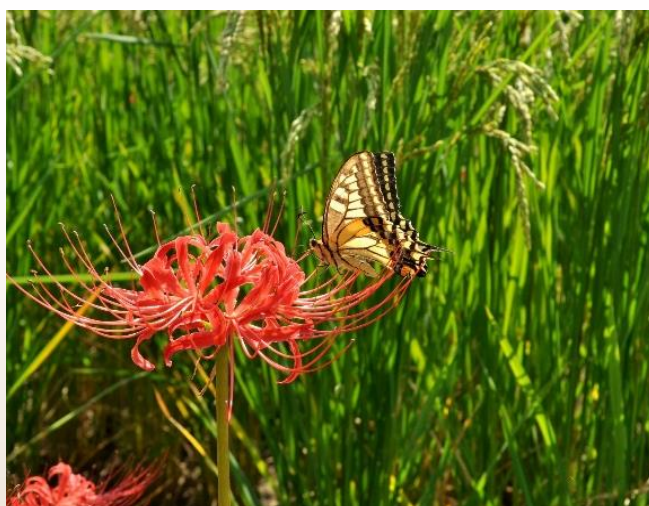


2015年 秋季号

平成27年11月発行 通巻第3号

人生を拓く

『同窓会報』改題



(寺坂棚田彼岸花/SC写真クラブ 細井弘子)

目次

さいたま市民大学同窓会 第2回定期総会を開催	2
会長挨拶/狭山市の発展に寄与できる団体にしたい /市長ら来賓4氏のご挨拶	
会員100人が出席し委任状提出は243人。全議案を拍手で承認	
/平成27年度役員体制及び業務分担 /市民大学:後期開講受講生111人が入学	
<資料>SSCC14年間の学科・コース別入学者数の推移	4
人間探訪.....	5
第②回 大木浄さん SSCC同窓会の生みの親	
ご無沙汰しています—あときの先生は今。	6
第3回 実用英会話学科 マイケル先生	
活動支援とクラブ活動	8
会員募集中! / 3団体と14クラブの紹介	
連載 ストップ・認知症.....	10
同窓会主催 第1回『認知症サポーター養成講座』を開催	
こんなことあんなこと 同窓会がからむニュースから	11
告知板・編集後記	12

「さいたま市民大学同窓会」は皆様の貴重な会費で運営されています。

さやま市民大学 同窓会

第2回 定期総会を開催 6月24日

会員100人が出席し委任状提出は243人 全議案が拍手で承認

さやま市民大学同窓会の第2回定期総会が6月24日の13時20分から狭山市民交流センター1階コミュニティホールで開催された。会員の出席者は役員と合わせ100人で、委任状提出が243人あり、合わせて343人は会員総数650人の53%に当たり、総会成立の適格条件である過半数を満たした。来賓として、仲川幸成狭山市長、磯野和夫市議会議員、松本晴夫教育長、小山周三さやま市民大学長、北田奈緒美市民部次長、土田博NPO法人協働ネット理事の6氏の列席をいただいた。総会司会は覆平芳恵理事で議事はスムーズに進行した。

諸井会長挨拶 狭山市の発展に寄与できる団体に成長したい

「さやま市民大学同窓会」と新たな名称となって2回目の総会を迎えることが出来たのも、多数の会員の皆様のお陰と感謝致しております。本日は6人の来賓のご出席をいただきましたが、中でもこの7月で退任される仲川市長様には長年に



わたりSSCCに始まって元気大学、市民大学、そしてこの同窓会にと多大なご理解と支援にご尽力を賜りましたことに心から感謝を申し上げます。さやま市民大学の小山学長にもご出席いただいておりますが、この同窓会は市民大学と太いパイプも築きつつあると思っております。大学の講座運営、あるいは、市民団体講師としても協力させていただ

いております。また、市民大学修了生のこの会への入会も配慮いただき感謝申し上げます。私どもの同窓会は、狭山の市民団体として、もっともっと誇れる存在に、そして、狭山市の発展に寄与できる団体に成長していきたいと願っています。

◆市長ら来賓4氏のご挨拶（要旨）

●仲川幸成市長 SSCCに続く市民大学の卒業生は既に各分野で活躍し、市の活性化に貢献している。市民大学は極めて独創的で、全国でも「さきがけ的」な組織である。同窓会は趣味や学びを通じて相互の仲間作りをしながら、地域貢献を目指す意義ある団体だ。この意味からも新しい市長には、文化、ボランティア、趣味等に対する理解と留意を伝えたいと思っている。自分自身の公民館活動等の経験から、昨今の若年層の社会参加の減少傾向には問題があり、地域の重要性についての再認識が必要であると思う。同窓会のますますの健闘を祈念する。

●磯野和夫市議会議員 市民大学は他の自治体からの視察も多く、全国的に認知された団体である。時代に合致しているので、ますま

す活動範囲を広げて狭山市の活性化に貢献してほしい。

●松本晴夫教育長 所管のSSVCは同窓会が主体となって立ち上げたもの。新しい生涯学習の方針（三本の柱）の中で学習の機会を創出して「学びとまちづくりの合体」を推進していただきたい。

●小山周三さやま市民大学長 本大学の目標は、まちづくりと地域づくりへの「志」を持つ人を創り出すことである。この3月に第1期生380人が卒業し、2年目となる4月には310人が入学したが、10月には後期5講座の開設があり、合わせて400人程度の卒業生が見込まれている。これは全国的にも規模の大きな組織なのである。将来的には先進的な市民大学として「狭山モデル」を目指したい。

次いで議長に氏原博明理事が選任され、議案審議に入る。第1号議案の平成26年度の事業報告及び収支決算報告、並びに監査報告が承認される。決算は収入1,322,195円（前年繰越金605,906円）、支出1,322,195円（次期繰越金373,548円）である。

第2号議案の平成27年度事業計画（案）及び収支予算（案）が承認される。予算は収入945,548円、支出945,548円（次期繰越金155,148円）となっている。

第3号議案の会則の改定（案）では、①事務局所在地の変更／狭山市教育委員会生涯学習部社会教育課内 ⇒ 元気プラザ内 ②役員の数の変更／(1)理事20人以内 ⇒ (1)理事23人以内、が承認される。

第4議案の新年度の役員体制と業務分担については下表の通り承認された。

これで、全議案が拍手で承認され14時45分に総会は無事に終了した。

平成27年度役員体制及び業務分担

◆理事

荒井 茂夫（新任）
井口 孝之（新任）
氏原 博明
覆平 芳恵（新任）
印牧 秀子
高羅 尚典
小林 宏子（新任）
庄司 一之
鈴木 強
中岡 義亨
中嶋 亨
中山 啓子
野地秀多朗
橋本 光明
花倉ケイ子
細井 弘子（新任）
水村美江子
六車 徳誠
森 博
諸井 寿夫
山下 則雄
山田 信子
横田 桂子（新任）

◆監査

坂井 敬一
中山 眞夫（新任）

退任／理事
佐野俊郎 杉本富夫
谷川勝利 早川真一
退任／監事
大木 浄

◆役員体制

会長 諸井 寿夫
副会長 中嶋 亨
副会長 鈴木 強
事務局長 中嶋 亨（兼任）
事務局次長 野地秀多朗
次長補 荒井 茂夫
会計主幹 高羅 尚典
会計 印牧 秀子

◆事業推進室

室長 鈴木 強
副室長 細井 弘子
井口 孝之 覆平 芳恵
中岡 義 橋本 光明
森 博 六車 徳誠
山田 信子

◆活動部会

部会長 鈴木 強
副部会長 細井 弘子
支援部会長 庄司 一之
副支援部会長 水村美江子
クラブ部会長 木全 秀雄
副部会長 関 紀文

◆広報委員会

委員長 中嶋 亨
顧問 坂井 敬一
会報誌 中岡 義 覆平芳恵
小林宏子 横田桂子
HP 井口孝之 森 博

◆事務局

中嶋 亨 野地秀多朗
中山 啓子 花倉ケイ子
氏原 博明 小林 宏子
細井 弘子 山下 則雄
山田 信子 横田 桂子
荒井 茂夫



後期開講受講生111人が入学

さやま市民大学では、後期開講講座として次の5座を募集し、順次開講している。定員はいずれも25人で、開講式と閉講式は学科によって異なる。

●地域の防災リーダー養成講座

入学者25人（開講 10月1日／閉講 11月26日）

●食と農のコミュニティ・ビジネス講座

入学者23人（開講 10月7日／閉講 3月16日）

●パパ・ママのお助け隊養成講座（学童期）

入学者24人（開講 12月4日／閉講 2月12日）

●狭山市認知症事業サポーター養成講座

入学者26人（開講 10月6日／閉講 11月24日）

●【短期講座】U-35(35歳以下)さやまのツアーづくりセミナー

入学者13人（開講 9月11日／閉講 11月14日）

注／「実際に見て聞いて歩いて狭山のお宝を再発見し、狭山の魅力を感じるツアー」。第1弾は堀兼地区で第2弾、第3弾は別の地区への展開を予定

総会・第2部 交流会・お笑いショーを開催

総会終了後の15時30分から第2部として『会員交流会&お笑いショー』を開催した。会員の参加は100人近くにのぼった。

お笑いショーはお笑い天国・浅草小劇場の5人の芸人を招聘して、コントなどのほかにビンゴゲームの司会などで参加者を楽しませてくれた。



確定

前号(第2号)で『<資料>年度別・学科別に見た募集人数と入学者一覧 SSSC・元気大学・市民大学』を掲載したが、SSCCについては入学者数の不明年度が何期もあった。その後の調べでほぼ確定と思われる数値が判明したので、ここに『<資料>SSCC14年間の学科・コース別入学者の推移』として再掲載する。元気大学と市民大学については前号の数値に変動はない。

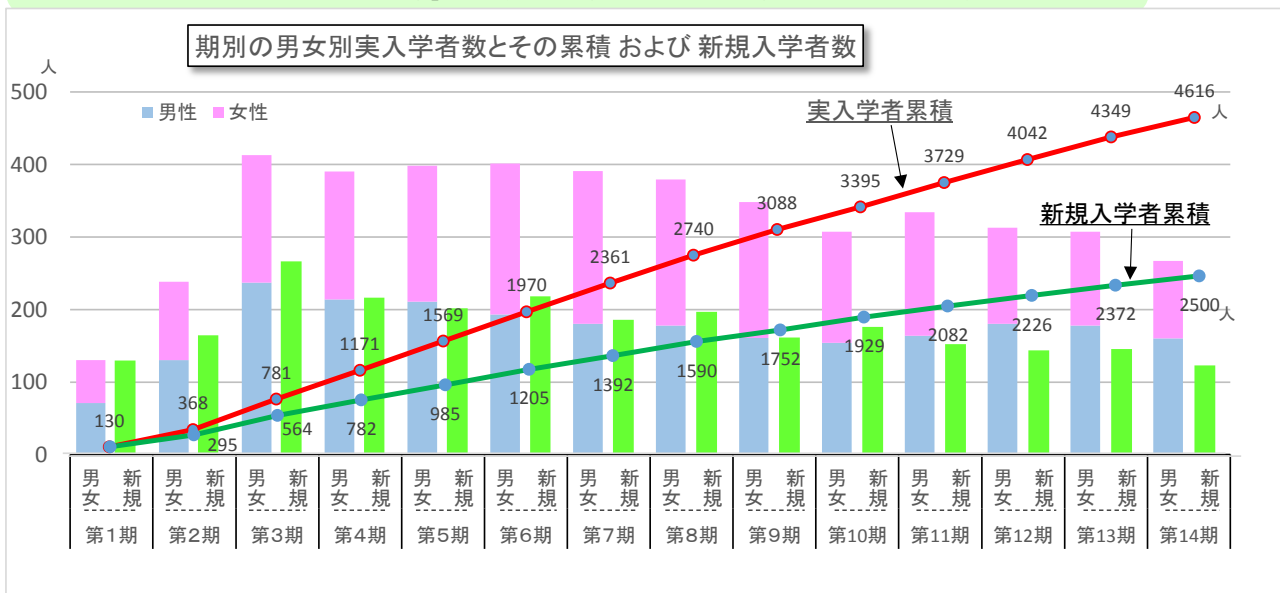
<資料> SSSC 14年間の学科・コース別入学者数の推移

学科・コース	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期	第13期	第14期	全体	
	2000年 (平成12)	2001年 (平成13)	2002年 (平成14)	2003年 (平成15)	2004年 (平成16)	2005年 (平成17)	2006年 (平成18)	2007年 (平成19)	2008年 (平成20)	2009年 (平成21)	2010年 (平成22)	2011年 (平成23)	2012年 (平成24)	2013年 (平成25)	募集定員	入学者数
	5学科 5コース 定員 入学	7学科 11コース 定員 入学	9学科 16コース 定員 入学	9学科 13コース 定員 入学	9学科 14コース 定員 入学	8学科 13コース 定員 入学	8学科 13コース 定員 入学	9学科 13コース 定員 入学	9学科 14コース 定員 入学	8学科 15コース 定員 入学	8学科 15コース 定員 入学	8学科 13コース 定員 入学	8学科 13コース 定員 入学	6学科 11コース 定員 入学		
生きがい(基礎)／いきがい 生きがい(研究) いきがい余暇開発	30 30	30 30		30 23	30 30	30 32	30 30	30 23	30 28	30 23	30 29	30 31	30 26	30 25	390	360
パソコン 初級(A, B, C, D)	40 40														500	485
パソコン 中級(A, B)		40 40													320	316
パソコン 講師/実用			20 20										20 20	20 20	60	60
パソコン 基礎(入門)				40 40										20 20	200	193
パソコン 基礎XP					40 40										40	36
パソコン 基礎VISTA						40 40									80	79
パソコン 初級XP							40 36								40	38
パソコン 初級VISTA								40 39							40	39
パソコン 中級XP									20 20						40	31
パソコン 中級VISTA									20 20						60	59
パソコン スキルUP										20 20					20	20
パソコン 初級W7-(A, B)												40 40	40 40	40 35	120	115
パソコン 中級W7-(A, B)												40 40	40 40	40 40	120	120
狭山の歴史(普通)	30 30	30 30	30 37	40 34	30 35	30 30	30 30	30 30	30 36	30 36	30 36	30 34	30 29	30 30	430	457
歴史研究/ガイド		20 20	20 29		30 19			20 14		30 22		30 17		20 12	170	133
歴史研究 石仏/文化財				30 32		20 18			30 25		30 15		20 11	20 13	150	114
英会話 初級	20 20	20 20	20 20	20 20	40 39	40 39	30 27	30 30	20 20	20 20	20 24	20 27	20 18	20 19	340	343
英会話 中級		15 20	20 22	20 20	20 24	20 19	20 23	20 20	20 17	20 14	20 18	20 25	20 15	20 14	255	251
英会話 上級			20 21												20	21
ハンゲル 初級(入門)	20 20	20 19	20 22	20 19	20 18	20 19	20 18	20 19	20 16	20 24	20 23	20 18	20 19		260	254
ハンゲル 中級		15 15	20 17	20 16	20 20	20 19	20 17								115	99
ハンゲル 上級			20 14												20	14
中国語入門								20 20	20 20	20 21	20 19	20 12			100	92
ガーデニング		20 20													20	20
レクリエーション		20 24													165	170
ジャーナル			25 25	24 24	24 24	24 21	24 24	24 20	24 22	24 23					270	233
マジック			30 30	30 30	30 27	30 22									120	109
楽農			30 33	30 29							30 30	30 29	30 22	30 24	180	167
高齢者ピアカウンセリング					24 23	24 24	30 28	24 26							102	101
子育て支援									30 27	30 15					60	42
トレッキング														30 32	60	62
合計	140 140	280 269	435 456	408 390	412 398	418 401	408 391	412 379	368 348	350 307	344 334	334 313	344 307	294 267	4,947	4,700
(実入学者数)		130	238	413												4,616
男性	71	130	237	214	211	193	180	177	161	154	164	180	178	161		2,411
女性	59	108	176	176	187	208	211	202	187	153	170	133	129	106		2,205
■入学者男女比(%)	55:45	55:45	57:43	55:45	53:47	48:52	46:54	47:53	46:54	50:50	49:51	58:42	58:42	60:40		男52:女48
■新規入学者数	130	165	269	218	203	220	187	198	162	177	153	144	146	128		2,500
新規入学者の割合	100%	64%	66%	58%	52%	55%	48%	52%	47%	58%	46%	46%	48%	48%		54%

注/ 第1期から第3期の3年間は複数科目の受講が可能であったため、第1期で10人、第2期で31人、第3期で43人の合計84人が複数科目受講者であった。この表では複数科目受講者はそれぞれの学科・コースに計上しているため合計では4,700人となるが、実入学者数はこの84人を差し引いた4,616人となる。

また、「新規入学者数」は各期とも初めてSSCCへ入学した人数である。従って、全体の2,500人は初めて入学した人の総数でSSCCに在籍した総実人数である。(SSCC終了時点での母集団は移動等を含めてこの人数となる)

ちなみに、「1人当たり受講科目・コース数」は1.85、入学者数に対する修了生数は平均2~3%減程度と推計される。



さやま市民大学の同窓会はこの6月に2年目を迎えたが、その前身のSSCC同窓会の設立は平成14年の9月だった。この間の13年間をずっと同窓会の発展に尽力された方がおられる。大木浄さん(82歳)。まさに「同窓会の生みの親」であり、「生き字引」でもあるのだ。その大木さんがこの6月で役員(監事)を退任された。実は、その大木さんはクラブや地域の支援活動でも中心となって活躍されておられるのだ。お話を伺おう。

(構成 中岡義)

開設準備から参加。クラブや地域の支援でも活躍

同窓会の開設にスタッフとして

大木さんは平成12年10月にスタートしたSSCCの第1期生である。生きがい学科に入学し、13年3月(初年度は6カ月間)に修了した。その頃、早稲田大学の嵯峨座教授(現名誉教授)のアドバイスがあり、SSCCに同窓会設立の機運が高まった。大木さんはこれに開設準備段階から事務局スタッフとして参加されて、翌14年9月20日の設立総会にこぎ着けたのである。当時を知る山田信子さん(現同窓会理事・人間科学研究会代表)は「当初から裏方として黙々と仕事をなさっていました」と話される。



翌15年6月の第2回総会で同窓会理事に就任されるが、その後はずっと事務局長や監事を務められた。また、SSCC同窓会をさやま市民大学同窓会としての存続にも関与され、軌道に乗せられたのである。

「人間科学研究会」を育てる

他方、大木さんは「生きがい学科・研究科」(『脳のはたらき』)を修了した14年に、そこで学んだ仲間と自主的な共同学習の場として同好会を立ち上げたが、これは清水滋男リーダー(現同窓会名誉会長)の指導を受けてのものだった。最初は輪読会から始められた。内容は、次々と解明されてくる脳の機能の知識をより高めたいと、中心メンバーの推薦があった図書の中から、脳科学を主にしたテキストを選んだ。この同好会は14年に「人間科学研究会」と正式に称し、同年9月の同窓会のスタートとともにクラブ活動部会に参加した。

この会の目的は、新知識の習得や会員それぞれの人生での体験などを語り合って相互の交流を深めることとされる。会員は若干の変動はあっても現在まで15人前後で推移している。

趣味は史跡めぐりも

「生きがい」とは別に、大木さんは15年3月に「狭山の歴史学科・普通科」を修了(この年は複数科目受講ができ「パソコン学科・初級」も受講)されている。また、学習成果の実践の場として楽しみながら実行しているものに「歴遊会」がある。「狭山の歴史学科・石仏コース」の仲間(幹事・後藤克明さん)と「秩父三十四観音霊場」「坂東三十三観音霊場」の参拝を完遂し、現在は関東地方の史跡などをほぼ毎月1回巡っているとのことだ。

このほかにも、企画・下見・実行のステップを踏む役割を担当のものがあ、日帰りで往復8時間程度を目途に立案。「資料に目を通し見知らぬ土地への訪問を計画することは、すこぶる脳を刺激することに間違いのないと思う」と話される。

『まじめを絵にしたような人』

大木さんは福岡県大牟田市の出身で、定年まで銀行に勤務されていた。大木さんらとともに同窓会を立ち上げ、現在も人間科学研究会で一緒に坂井敬一さん(現同窓会監事)は、「お酒はたしなまず、まじめを絵にしたような人」と評される。とにかく「物凄く本を読んでいる方」とは周辺ではよく知られていることである。

実は、大木さんは地域のボランティア活動にも積極的で、SSVCのスタート時から狭山台小で学習支援、花壇整備、校内安全パトロールに参加された。今も校内安全パトロールは続けられている。

ご無沙汰しております —あのときの先生は今。

第3回 実用英会話講座

(旧英会話初級・中級学科)

マイケル先生

Michael Cormack

SSCCのスタートは2000年(平成12)だが、「英会話 初級」はその第1期からスタートした。その翌年に「中級」が開始し、この2本を柱に13年のSSCC終了まで続いた(「上級」は02のみ開講)。14年に市民大学へ引き継がれ、翌15年に「実用英会話」に統合されたが、09年から現在までの6年半を担当されておられるのが西武文理学園で英会話を教えているマイケル(Michael Cormack)先生である。この講座に情熱を注がれる先生の人となりの一端を垣間見させていただきたくお話をお伺いした。

(インタビューー 諸井寿夫・構成 中岡義)

●生まれたのはどんなところですか。

英国ロンドンの東部にあるボウ(Bow)というところで、ドーバーヒラメ(Dover Sole)で有名な海峡側です。純粹の英国人の原住民である「コックニー」(Cockney)が先祖の歴史的な町です。そこに1958年6月に生まれて、今年で57歳になりました。

●ご家族の歴史は。

祖母には会っていませんが祖父は知りません。母は84歳で今も健在ですが、父親は20年ほど前に亡くなりました。兄弟は兄が1人おります。

●どんな子供でしたか。

外で遊ぶのが好きで“かくれんぼ”や“散歩”をよくしました。道を歩きながら物を観察したり拾ったりしたものです。学校の成績は中ぐらいだったのでしょうが、あまりうるさくは言われなかったです。

●現在のご家族はどなたですか。

日本人の妻のほかに息子と娘が1人ずついます。息子はロンドンで日本酒のソムリエをしており、娘は中華航空(台湾)でフライトアテンダントをしています。家庭での会話は英語です。

●よろしかったら、奥様との“なれそめ”をお聞かせくださいませか。

ロンドンにある外国語の学校で初めて会いました。世界中から英語を習いに来るのですが、

私はそこへ手伝いに行っていました。一目ぼれでした。彼女が来て2~3カ月のころからデートをするようになり、1年が過ぎて結婚しました。式には日本からは誰も呼びませんでした。結婚してから妻は学校に行かなくなりましたが、私が家で教えました。まもなく息子が生まれました。この1年後に3人で日本に来て練馬区に住み、荒川区の町屋の英会話スクールで教えていました。その後、練馬に住んでいる時に娘が生まれました。

●今のお住まいやご趣味などは。

自宅は川越の上寺山で、最寄り駅は西川越です。車が好きで、普段はBMWで狭山へ通っています。講座の場所はこの3月までは西武文理大学でしたが、今期からはプラザに変わりました。気分転換にもなって快適です。趣味はスモーククッキング(燻製料理)で、この調理は屋外でやっています。食べもので特に好きなのは豆乳鍋です。魚も好きですが、ウニと饅頭、お節料理だけは受け付けません。お酒は好きです。学科の暑気払いや懇親会の飲み会も楽しいです。学園の学生たちとは飲めませんので。

●日本を選ばれたのはどうしてですか。

妻に会う1年ほど前に日本へ行って来た友人から、非常によい国なので一度行ってみたらと勧められ、自分もその気になっていました。それが、結婚ですぐ訪日する機会が訪れました。

日本に来たのは1985年10月7日ですが、直ぐにこの国は安全でクリーンな環境だと感じまし



た。来日してこの10月で30年になりました。これを記念してこの日に2人で念願の富士山に登ってきました。来年は息子も一緒に登ることにしています。

●西武文理学園に赴任された経緯は。

11年前に法政大学の教授から西武文理がいいと勧められました。西武文理からもぜひとのコンタクトがありました。

●SSCCとの関わりとその意義は何だと。

私が担当したのは6年前の09年からです。受講生には自分の勉強になるだけでなく、他の人に対する支援が地域の貢献になるのです。それは素晴らしいことで、そこに意義を感じます。私は西武文理で中学と高校生に教えていますが、市民大学のシニアにも満足しており、非常に楽しんでやっています。

●講座の「ねらい」はどこに。

市民大学の募集案内にも書きましたが、海外のお客さんをお迎えして「おもてなし」の心で、日本人の生活や文化を伝えることを学びます。具体的には、英語での道案内、交通手段、観光スポット、日本の文化、食事、お土産、質問対応などです。修了後には、学校支援（SSVC）など学びの成果を地域で実践することです。そして東京オリンピックを視野に、外国人に対応できる英語ボランティアとして活躍することを目指しています。

●去年までの講座は初級と中級の2コースがありましたが、違いはどこでしたか。

学科の特性どおり「読む・書く」よりも「聴く・話す」を基本にしています。初級はあいさつや自己紹介などの日常生活での初歩的な英会話を中心でした。中級は自分の意見を英語で言うようになることでした。

●英会話にはからきしダメな私などは、この目標はずいぶん高いように思うのですが、こんな可能なのでしょうか。

可能です。といっても、だれもが英会話がペラペラとはいかないでしょうが、英語に物怖じしなくなるのは確かです。授業はすべて英語で通しますが、講座では年間を通じて何度か教壇に立って全員の前で英語でのスピーチがあります。「大勢の前で日本語もあまり話したことがないのに、英語で話をする自分が信じられない」

と謝恩会で胸を張る受講生が印象的でした。会話だけでなく度胸も付いていたのです。そして、英語の上達だけでなく、新しい友情も築いていただきたいと思います。

●ところで、英国と日本の違いはどこに。

私は日本と英国の両方の国で30年余り英会話を教えていますが、2カ国の文化に通じていることはとても役に立つということがわかりました。

このことが授業のときにとっても助けになります。ご質問へのお答えですが、それは文化の違いだと思います。ともに長い歴史を持っていますが、英国は歴史があっても伝統を引きずっていません。いろんな国から移り住んでいますが、学校では教えているものの、継続できていないのです。正月とかお盆、お墓参りなど、日本は文化を大事にしてそれを継続できる



31年前、ロンドンの教会で挙式

国なのです。それに家系を大事にします。人を尊敬するとか謙譲語で話すことが多いのも、日本の大きな特徴でしょう。私は日本人の精神を90%は植え付けられています。10%はまだ英国人ですが。

●10%の「英国魂」はぜひとも失わないください。将来の希望とか夢は何でしょうか。

海の近くに住みたいですね。そして、そこで小さなバーとかレストランのオーナーをやりたいです。スモール居酒屋とかもいい。焼き鳥を出したりして。その場所は、たとえば四国あたりで、海を見下ろすようなところだと最高です。

●最後に、修了生へのメッセージを一言。

将来に明るいイメージを持って、先に向かって肯定的（積極的、行動的）に進むことです。そして、「夢は現実になる」(Dreams come true)ことを信じましょう。

●狭山のシニアに「英会話」をご教授いただけることに敬意を表します。今後とも度胸を持ち合わせたグローバルな人材の育成にご尽力くださいますことを。ありがとうございました。

活動支援とクラブ活動

会員募集中！

市民大学同窓会の活動には2つの柱となる部会があります。活動支援部会とクラブ活動部会です。この11月現在で活動支援には3つの団体、クラブ活動には14のクラブがあります。

活動支援部会はボランティア活動により地域に貢献すること、クラブ活動部会は学習やスポーツ、趣味などを通じて各自がいきがいを持って仲間づくりと健康増進を図ることを目的としています。

関心がありましたら、「連絡先」にお電話をください。

活動支援部会・3団体

学校支援ボランティアセンター(SSVC)

代表者／諸井寿夫 支援者数／約400 (男女半々)
入会金・年会費／なし
連絡先／事務所 (元気プラザ A棟3F) 04-2927-1395
電話受付 月・火・金 午後1時～4時

市内の小中学校での色々な学科支援。特に資格や専門知識は不要で、支援は都合の良い日だけ。「子供たちから元気を貰えるので楽しい、歳を取らない」というのが皆様の感想。工場見学やハイキングなど仲間の楽しい集まりもある

パソコン支援の会

代表者／森 博 会員数／24 (男性10・女性14)
入会金／なし 年会費／1,000円
連絡先／森 博 04-2952-7954

市内5つの公民館と共催で、シニアを対象に「初心者パソコン教室」を開催している。今期は14期目で、これまで700人を超える修了生を送り出した。毎年5月から翌年2月までの10カ月間に全27回の講座でワードやエクセル、インターネットの基礎、年賀状の作成などを学習する。その他今年度は、さやま市民大学協賛講座の「パソコン講座初級」の運営にも当たっている

福祉支援(チョボラの会)

代表者／大内輝夫 会員数／16 (男性2・女性14)
入会金／なし 年会費／500円
連絡先／大内輝夫 090-4416-3619

『チョボラ』とは「ちょっとしたボランティア」のことで、傾聴を目的に平成17年12月に無償ボランティアグループとしてスタートした。月に1～2回、1回1時間～2時間、会員相互の親睦を深めながら「細く長く」をモットーに無理のない活動を目指している。26年度は6カ所の施設で延べ135日間・225人で活動した。また、26年度には狭山市社会福祉協議会会長賞、27年度には埼玉県社会福祉協議会会長賞を受賞した

クラブ活動部会・14クラブ

ウォーキングクラブ

代表者／木全英雄 会員数／122 (男性59・女性63)
入会金／1,000円 年会費／2,000円
連絡先／木全 (きまた) 英雄 04-2955-0640

*平成27年11月以降の活動予定／11月・北鎌倉ウォーク 12月・市内ウォーク&忘年会 平成28年1月・明治神宮初詣と代々木公園ウォーク 2月・自主企画 3月・八王子城山ハイク。注・当クラブの入会申込受付は年1回(4月1日～4月末までの1カ月間)。入会時には説明会を開催

手打ちそば・うどんを楽しむ会

代表者／堀越圭二 会員数／23 (男性10・女性13。そばグループ14、うどんグループ9)
入会金／なし 年会費／2,000円程度 (但し実費)
連絡先／堀越圭二 04-2953-5468

*主な活動：そばグループ/各人が各々課題を持ち技術の向上を図る。うどんグループ/前期(3月～9月)武蔵野うどんの基本を、後期(10月～3月)応用調理等を楽しく学ぶ。その他、知識の向上のため“食べ歩き”や介護施設へのボランティア活動も。
*実習日と場所:そばグループ/毎月第3金曜日(除く8月)。うどんグループ/毎月第4金曜日(除く8月) 9:00から12:00まで。いずれも堀兼農業改善センター調理室。*見学ご希望の節は事前に会長までご連絡を

SC写真クラブ

代表者／戸田尚一郎 会員数／22 (男性18・女性4)
入会金／なし 月会費／1,000円
連絡先／戸田尚一郎 04-2959-3412

*講師：渡辺圭三先生 *活動日：原則毎月第1月曜日。偶数月・撮影会、奇数月・机上例会 *作品展示：年1回 作品展の開催、公民館文化祭への参加

歴史クラブ

代表者／村越正治 会員数／84 (男性51・女性33)
入会金／500円 年会費／2,000円
連絡先／村越正治 04-2959-2862

*定例会：毎月第2水曜日 *会場：13時30分から元
気プラザ大会議室 *主な活動：春・秋の見学会。8
グループの活動（月1回） *今年11月後半から来
年5月中旬までの主なイベント・行事予定：さやま
市民大学同窓会学園祭参加（展示及び公開講座）。地
域連携活動として自治会・町内会との共催の歴史探
訪ウォーキングを実施

グリーンクラブ

代表者／神坂清太郎 会員数／71 (男性62・女性9)
入会金／なし 年会費／500円
連絡先／高羅尚典 04-2959-5836

入会随時OK *定例コンペ：春（4～5月）・秋（10
～11月）の2回 *狭山市ゴルフ協会主催コンペ（年
3回）には優先参加ができる

パソコンクラブ

代表者／橘敬治 会員数／15 (男性10・女性5)
入会金／1,000円 年会費／5,000円（前期2,500円、
後期2,500円）
連絡先／宮川澄雄 04-2954-2921

太極拳クラブ

代表者／葛西治 会員数／29 (男性19・女性10)
入会金／1,000円 月会費／1,500円
連絡先／葛西治 04-2957-6992

*活動会場：中央公民館（交流センター） *活動日：
毎週金曜日 19:00～20:30 *11月以降の行事：懇
親会・新年会など。*特記：練功あとの気分爽快さ
は得難し。年齢問わずどなたにもお勧めできる

人間科学研究会

代表者／山田信子 会員数／10 (男性5・女性5)
入会金／なし 年会費／（隔年）1,000円
連絡先／山田信子 04-2954-2086

この会は平成13年に「いきがい学科」の第1期で学
んだ仲間と自主的共同学習の場として同好会を立
ち上げる。翌14年に「人間科学研究会」と称し、1
期の講座内容が「脳」だったことから、もっと勉強
をと脳科学を主にしたテキストを選んでいる。1年
に新刊書2冊は読み砕く

古典芸能愛好会

代表者／鈴木強 会員数／24 (男性13・女性11)
入会金／500円 年会費／500円
連絡先／鈴木強 04-2952-8617

平成22年秋にあらゆるジャンルの古典芸能を鑑賞
しようという欲張りなクラブとして発足した。活
動は原則2カ月に1回行なっている。主な鑑賞先
は新宿末広、国立演芸場

うた声さりね

代表者／高須晴子 会員数／23 (男性3・女性20)
入会金／なし 年会費／2,000円
連絡先／高須晴子 04-2958-5176

*童謡・歌謡曲・ポップスまで *練習日：第1・
第3火曜日 13:30～15:30 *会場：広瀬公民館
*代表から一言／皆で楽しい雰囲気を作り、そ
の中で歌を楽しみ、おしゃべりを楽しみ、精一杯
声を出して元気をいただく。そんなうた声さり
ねを13年続けている。どうぞ一緒に歌をうた
いましょう

いきがい学科の会

代表者／鈴木強 会員数／109 (男性61・女性48)
入会金／なし 年会費／500円
連絡先／鈴木強 04-2952-8617

*活動概況：平成25年8月にいきがい学科修了生
と仲間作りを始め、自己実現と社会参加を念頭に
『いきがいを確かなものにして行こう』と発足し
た。活動は原則として年3回、講演・シンポジ
ウム・見学会等々

囲碁クラブ

代表者／山下邦夫 会員数／28 (男性27・女性1)
入会金／なし 年会費／1,200円
連絡先／山下邦夫 04-2958-0906

卓球クラブ

代表者／小林誠一 会員数／22 (男性11・女性11)
入会金／1,000円 年会費／3,000円
連絡先／小林誠一 04-2959-6830

吹矢クラブ

代表者／野地秀多朗 会員数／18 (男性12・女性6)
入会金／1,000円 月会費／500円
連絡先／野地秀多朗 04-2950-5818

*練習日：毎週木曜（月4回）13時～16時30分
*会場：狭山台公民館学習室（2階）

連載① ストップ・認知症

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを

埼玉県は高齢化率で全国1位です。あまりありがたくない1位ですが、10年後の2025年までに見込まれる高齢者人口の増加率が全国1位と推定されています。もちろん、狭山市も例外ではありません。当然ながらも、認知症の方も増加すると考えられます。この事態に対応するためにも、「認知症サポーター」の養成は喫緊の課題となります。さやま市民大学同窓会では9月16日に元気プラザを会場に市の長寿健康部介護保険課の協力を得て、『認知症サポーター養成講座』を開催いたしました。その内容をお伝えします。

(さやま市民大学同窓会「認知症」研究会)

同窓会主催 第1回

『認知症サポーター養成講座』を開催

開催に先立ち介護保険課の前澤課長からこの講座の意義などについて挨拶があり、次いで同窓会の諸井寿夫会長から『同窓会の役割として今日の講座は、「安心して暮らせるまち」とする活動の“きっかけ”

にしたいと思っています』との挨拶がある。

初めに、介護保険課の野崎主任を中心とした認知症キャラバンメイト登録講師による講義で、「認知症サポーター」とはどんな人かの説明があった。

★「サポーター」とは、どんな人？

【今、日本は世界一の高齢大国です。これにどう向き合うのがいいのか。厚労省はその施策の1つとして「認知症サポーター100万人キャラバン」事業を全国で展開しています。それは、認知症を正しく理解し、偏見を持たず、認知症患者や介護する家族を地域で温かく見守ることがスタートです。「認知症サポーター」は決して「何か」特別なことをする人ではありません。認知症の人やその家族の「支援者」です。】

★サポーターに期待される3点

サポーターに期待される点として次の3点を挙

げられた。①認知症を正しく理解して偏見を持たずに温かく見守る ②認知症の人や家族に対して自分なりにできることで支援をする ③地域でできる相互扶助、連携、ネットワークに参加し協力する



【写真】参加者はグループに分かれて認知症の方への対応について協議した(9月16日 於プラザ)

★「3ない」の心得
認知症の人と接するときの基本姿勢として「3ない」の心得を説かれた。①驚かせない ②急がせない ③自尊心を傷つけない

★7つの具体的な対応

具体的な対応として7つのポイントを挙げた。

①まずは見守る ②余裕をもって対応する ③声をかけるときは1人で ④後ろから声をかけない ⑤相手に視線を合わせ優しい口調で ⑥おだやかにはっきりとした滑舌で ⑦相手の言葉に耳を傾けてゆっくりと

来年3月5日に狭山市と同窓会が共催で 講演と活動報告会を開催

開催日 2016年3月5日(土曜)午後1時から

会場 狭山市民会館・小ホール

第1部 基調講演／認知症とは

講師：あさひ病院 大島久智院長

第2部 認知症対策活動報告会

◎詳細は同窓会の「ホームページ」などに掲載します

次いで、講師らによる寸劇で、認知症の人への対応などを学んだ。これには参加者を数グループに分けて、どう対応するのが適切かの議論を行い、講師からその「模範解答」の説明があった。

★認知症予備軍（MC I）の進行と予防

なお、前号でも触れた認知症予備軍＝軽度認知機能障害者（MC I）について、次のような説明があった。【単なる物忘れで、まったくとっていいほど日常生活には支障はありません。ただし、記憶力の低下が年齢に比例して平均以上に進んでいる場合は進行する可能性があります。最近の研究では、MC I と診断された人の13%前後が1年後には認知症に移行し、4年間では約50%の人が認知症になるといわれています。この段階で早期に適切な予防の対策ができれば進行をゆるやかにすることができるといわれています。】



【写真】上・埼玉県 認知症サポーター証 下・オレンジリング



51人の参加者を巻き込んでの有意義な1時間半の講座であった。

最後に「埼玉県認知症サポーター証」と「認知症の人を応援します」との意思を示す目印である「オレンジリング」が渡されて終了した。

こんなこと あんなこと

同窓会がからむニュースから

■早大所沢キャンパス祭 展示や屋台で参加

いきがい学科の受講場所は早稲田大学の所沢校舎だが、ここで10月25日に大学祭にあたる「早大所沢キャンパス祭」が開催された。同窓会では1教室の提供を受けて昨年到现在まで同窓会活動を紹介するパネルなどを出展した。SSVCは大学生や高校生に「シニアと一緒に、

学校支援への参加を」と呼びかけた。また、「いきがい学科の会」では屋台を出して焼き鳥を販売し、10時の開店後には行列ができるほどの好評で、用意した250本の串は1時間半で完売した。



喜んだスタッフは手打ちで締めたのだった。

■「脳トレでコミュニケーションが良好」に

10月3日に「いきがい学科の会」の第3回定時総会が中央公民館で開催された。総会では同窓会監事

でもある中山真男さんの「狭山市の歴史に残る大きな出来事」として、「渡来人の流入」「入間基地」など興味ある話があった。第1部の総会の



あと武蔵野学院大輪島直幸教授(写真)の『脳トレでコミュニケーション良好』と題する講演がある。教授はNHKテレビの「おかあさんといっしょ」の6代目お兄さんで、指の体操の実演と指導を中心に50人を超える会場は笑いに包まれた。

■「地域ふるさと学講座」に山本東次郎師

さやま市民大学の「狭山地域ふるさと学講座」では、その第11回目を市民への特別公開講座として、9月28日に市民交流センターで開催した。講師は人間国宝の第四世山本東次郎師(大蔵流/写真左)で、「狂言『入間川』を演じて感じる狭山の魅力」を語られ、180人の市民が参加した。



師は狭山市で狂言鑑賞会を21年間継続的に開催されるなど市とは縁がある。来年3月6日に大蔵流の狂言会が市民会館で開催の予定である。

告知板

■「さやま市民大学学園祭」が開催されます

第2回「さやま市民大学学園祭」は12月5日(土)と6日(日)に狭山元気プラザ(旧狭山台北小学校)で開催されます。同窓会ではこれに多くのクラブによる展示のほか模擬店や新鮮野菜の販売などもあります。皆様のご来訪をお待ちしています。

■今年『狭山茶の里ウォーキング』として開催

狭山市では昨年は市制施行60周年記念の一環として『Well-being ウォーキング in 狭山』を開催したが、今年11月22日(日)に『狭山茶の里ウォーキング』として実施されます。「入間川のせせらぎを聞きながら健康ウォーキング」がキャッチフレーズです。新狭山駅北口中原公園をスタートして入間川河川敷→市駅西口市民広場がゴールの8キロコース。出発は9:00から11:30の間の随時。さあ、皆さんも健康のためにも一緒に歩きましょう。

■SSVC事務局が元気プラザ内に移転

SSVCは2007年(平成19)4月の設立以来、事務局を狭山台中学の南棟2階に置いてきたが、8月に同窓会事務局や市民大学と同じ元気プラザへ引っ越しました。A棟3階教室4です。

『人生を拓く』誌名を変えました

SSCC同総会は2002年(平成14)9月に設立したが、その12月に『同窓会 会報』の創刊号が出ました。この誌名のまま昨年6月にさやま市民大学同窓会に移行してからも、『同窓会報』とただで引き継がれて、前号までに通巻で25号が発行されました。

ただ、「仮称」のような誌名ではやはり「不憫(ふびん)」ですので、案を募って33候補の中から『人生を拓く』と改め、今号から変更いたしました。

今後ともご支援、ご愛読をお願いいたします。

【編集後記】

■『ご無沙汰しております』の取材で実用英会話のマイケル先生にお目にかかった1週間後の土曜午後、プラザの教室の隅で授業を見学させていただきました。確かに会話は英語だけで通され、当方はほとんど理解できないまま。先生は忙しく動きながら大きなジェスチャーで話されるのを聞く受講生からは時どき笑いが起こります。ということは、どなたも内容を理解されているのでしょうか。この上なく肩身の狭い1時間半でした。

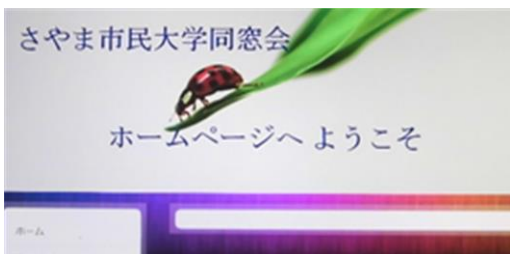
■前号に掲載した『年度別・学科別に見た募集人数と入学者数一覧』は入学者数に不明箇所が多くありました。その後の調べでほぼ確定と思われる数値が判明したので、『SSCC14年間の学科・コース別入学者数の推移』として掲載しました。2000年(平成12)のSSCCのスタートから13年の閉幕までのデータです。協力くださった方々に感謝を申し上げます。なお、元気大学と市民大学の定員・入学者数については、前号と変動はありません。

■『人間探訪』の第2回は同窓会立ち上げの準備から携わってこられた大木浄さんで、同窓会の生みの親ともいえる方です。この6月の新生同窓会の総会で退任されましたが、この16年間の同窓会の発展にご尽力されましたことに感謝いたします。お疲れさまでした。

■『ストップ・認知症』は前号の「予告」に続いて連載の開始です。私たちは「認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを」行政に願っていますが、はて、自分にできることは何かあるのでしょうか。同窓会主催の認知症養成講座を受講して県から『認知症サポーター証』をいただきましたが、これを死蔵させないためにも何ができるのかを考えることから始めたいと思っています。

■本誌へのご意見をお寄せください。次号の発行は16年5月15日の予定です。(G)

●同窓会の「ホームページ」もご覧ください●



アクセスの手順

- ① ヤフー、グーグル等の検索欄に「さやま市民大学同窓会」と入力して、「検索」をクリックする。
- ② 「同窓会概要-さやま市民大学同窓会」をクリックすると、「ホームページへようこそ」が開きます。

●同窓会報のバックナンバーも見られます●

さやま市民大学同窓会 同窓会報『人生を拓く』 2015年秋季号 通巻第3号

□発行日 2015年(平成27)11月15日

□編集 さやま市民大学同窓会広報委員会

□発行 さやま市民大学同窓会事務局

〒350-1380 狭山市狭山台1-21 さやま市民大学事務局内
事務局/電話 090-3514-6002

E-Mail; nakajima.t@ae.auone-net.jp